

報告第26号

令和6年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業並びに
決算の報告について

地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、令和6年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業並びに決算について、別紙のとおり報告する。

令和7年9月18日提出

宇治市長 松村 淳子

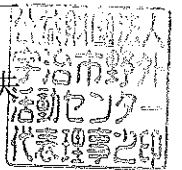
7 公財宇野活第 8 5 号

令和 7 年 6 月 30 日

宇治市長 松村 淳子 様

公益財団法人宇治市野外活動センター

代表理事 杉 本 厚 夫



令和 6 年度公益財団法人宇治市野外活動センター

事業報告および決算報告について

令和 6 年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業報告および決算報告に
ついて、別紙のとおり承認されましたので報告します。

報告第1号

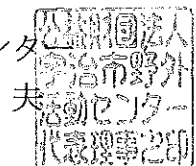
令和6年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業報告について

令和6年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業報告について、別紙
のとおり承認を求める。

令和7年6月28日提出・可決

公益財団法人宇治市野外活動センター

代表理事 杉 本 厚



令和6年度

公益財団法人宇治市野外活動センター

事業報告書

令和6年度 公益財団法人宇治市野外活動センター 事業報告書

I. 年度総括

当法人は令和4年度からの5年間、指定管理者として宇治市総合野外活動センター運営を受託している。

お客様がアクトバル宇治を創り育てる人となっていただけるよう、Make it together をキーワードにして、笠取の自然の中で豊かな心や公共心を涵養できるよう次の3つのミッションを柱とした事業を展開した。

○豊かな自然の中で野外活動を楽しみながら日常生活を見直し、環境について考える機会を提供する。

○自ら学び自ら考える力を育むことができる教育施設として、活動の場を提供する。

○地域に根づいた事業を展開し、笠取地域の活性化、宇治市さらには近隣地域のグリーン・ツーリズムに貢献する。

令和4年度より導入された利用料金制度を自立した経営力を発揮するチャンスととらえ、お客様のニーズに合わせたテントエリアの拡大や予約不要工作イベントの開催等、収益増に向けた取り組みを進めるとともに、各種委託業務契約の内容や利用申請手続きの見直し等、必要経費の削減にも努めてきた。令和6年度は開設25周年にあたり、年間を通して25周年記念をアピールした広報活動や、オートキャンプ等の指定管理業務外の事業拡大にも取り組み、収益力強化に注力した。

施設管理においては経年による消耗・劣化箇所の点検修理を実施、緊急的な修繕も適宜実施し、お客様に安心安全にご利用いただけるよう努めた。

有限会社笠取ファームとは連携を密にし、イベント協力や新規メニューの販売等、必要に応じて協議の場を設けた。

宿泊利用者数は前年同数程度、日帰り利用者数はグラウンド・ゴルフ利用の増加や日帰りオートキャンプサイトの新設もあり、前年比約12%増となった。年間利用者数は96,868人と前年より約8%増加し、コロナ前の水準に回復した。

最終的な利用料金収入は約3,469万円（当初予算比マイナス約229万円、前年比プラス約73万円）となった。

社会情勢の影響により電気料金が予算額より大幅に値上がりしており、当初予算比で約350万円の支出増となった。光熱費の高騰や食堂工事にかかる休業補償、最低賃金上昇による人件費の負担増が収支に大きな影響を与えることになったため、宇治市とのリスク分担協議の結果、令和6年度は指定管理料を約530万円追加する形で指定管理変更協定を締結した。

II. 事業内容

1. 指定管理業務

宇治市より「宇治市総合野外活動センター アクトパル宇治」の指定管理業務を受託した。

(1) 施設利用【宇治市総合野外活動センター管理運営事業・活動支援事業】

(宇治市総合野外活動センター管理運営事業)

お客様に安全・安心、快適に施設を利用していただけるよう維持管理を行い、施設を良好に管理する。あわせて、施設使用の予約受付から申請許可、使用料の徴収等、施設運営に係る業務を行った。

教育活動、レクリエーション活動の場として学校・団体利用の促進を図るとともに、お客様満足度の向上や地域貢献につながる事業を展開した。

宿泊利用者数に関しては前年並みとなったものの、日帰り利用者数が約12%増加し、合計の年間利用者数は前年度比約8%増となる96,868人となり目標値より約4,000人増となった。利用料金収入においては、宿泊利用が前年並みで推移した一方、日帰り利用ではグラウンド・ゴルフ場の利用増もあり、最終的な利用料金収入は約3,469万円（当初予算比マイナス約229万円、前年比プラス約73万円）となった。

利用者数（目標値）

《宿 泊》	30,335 人 (33,000 人)
《日帰り》	66,533 人 (60,000 人)
《合 計》	96,868 人 (93,000 人)

使用料収入（目標値）

34,685,610 円 (37,000,000 円)

また電気料金が社会情勢の変化による影響で高騰し、節電に努めたものの当初予算額より約350万円の増額となった。

光熱費（電気料金）の高騰、厨房工事期間の食堂従業員の休業補償、最低賃金の上昇に伴う人件費影響分について、宇治市とのリスク分担規程に基づき令和6年度は指定管理料を約530万円追加する形で指定管理変更協定を締結した。

【令和6年度の主な取り組み】

○学校・団体利用の促進

- ・小学校宿泊利用を促進するため、宿泊学習プランを送付し広報した。
- ・「スポーツ合宿プラン」「研修プラン」チラシを作成し、近隣の高校、大学、スポーツ団体、企業等に案内するとともに、資料を送付し新規団体の利用促進を目指した。

また新たにボーイスカウト団体向けの「自然体験」パンフレットを作成・配布した。

- ・団体のご要望に応じて、休所日の臨時営業にも対応した。
- ・令和5年度よりアルペンアウトドアーズ宇治店と相互集客の提携を結び、アルペン店頭で利用案内、合宿利用プラン等のチラシを配架した。

団体利用数実績（目標値）

林間学習利用実績 45 校（55 校）

企業研修利用実績 7 件（8 件）

スポーツ合宿利用実績 71 件（44 件）

○グラウンド・ゴルフ利用の促進

- ・愛好家をはじめ、幅広い層にご利用いただけるよう令和4年度から始めた回数券販売を継続し、利用促進につなげた。
- ・食事とセットにしたグラウンド・ゴルフ割引プランを販売した。（GG＋鍋焼きうどんセット）
- ・芝生の生育状況に合わせ、適宜芝刈り、施肥、雑草駆除等のメンテナンスを実施した。

○会議システムの整備

- ・研修室においてワーケーション利用や企業や学校の会議スペースとしても活用できるようリモート会議の設備を整え、企業等にも利用案内を送付した。

○お客様意見・クレームへの対応

- ・施設ご利用のお客様にアンケートやインタビューを実施し、ご要望や不満な点をくみあげ改善につなげた。
- ・イベント参加者には Web アンケートを導入し、回答と集計の効率化を図った。

○トイレ設備の改善

- ・将来的なトイレ改修に向け、現状の調査を実施し課題を把握するとともに、改修方針について協議を進めた。

○キャッシュレス決済の活用

- ・現金以外の支払い方法に対応するため、令和4年度からクレジットカード、電子マネー等が利用可能なキャッシュレス決済を導入している。令和6年度も継続しており、キャッシュレス決済利用率は約29%となっている。

○予約手続きの簡便化

- ・宇治市とも協議の上、施設の予約申請手続きの一部を簡便化し、お客様の手続き負担を軽減するとともに郵送費、事務作業の縮減を図った。

○施設修繕の取り組み

- ・アスレチックや常設テントの劣化部分の修繕をはじめ、安全に施設をご利用いただけるよう適宜点検・修繕を実施した。
- ・大規模修繕については宇治市と協議、調整の上、冬季に厨房空調設備改修工事を実施した。

○改修工事に伴う食堂休止期間の対応

- ・厨房給排気設備改修工事に伴う食堂営業休止期間（1～2月）の食事代替手段として弁当宅配サービスを提供した。

○有限会社笠取ファームとの協力体制

- ・植栽管理ならびに清掃作業を委託し、清潔感と開放感あふれる環境を維持した。
- ・日常的な課題や業務改善に向けた取り組みについて、毎月定例会議を実施した。
- ・農業体験、ふるさと体験、各種イベント開催にあたって連携し、お客様と地域住民との交流の場を提供した。

○宇治市との連携

- ・宇治市教育委員会の担当部署である生涯学習課と月1回の定例会議を開き、施設の最新状況や修繕計画等について協議し、連携を密にした。
- ・宇治市のふるさと納税返礼品として各種宿泊券を提供した。
- ・宇治市子どもの読書活動推進委員会との連携事業として管理棟ホール図書コーナーを子ども読書コーナー「えほんの森」スペースとして整備しており、利用者により一層読書を楽しんでもらえるよう環境の充実を図った。

（活動支援事業）

お客様が施設を利用されるにあたり円滑に活動できるよう、天体観察プログラムを案内する天文ボランティアの調整や、創作活動の補助、農業体験の実施調整等の支援を行った。

また、より充実した活動プログラムの開発を行うための野外活動等に関する最新情報の収集を行った。

（目標額）収入 300 万円 支出 160 万円 収支差額 140 万円※天体ボランティア費用除く
（実績） 収入約 269 万円 支出約 125 円 収支差額約 143 万円

活動支援事業例

○天体観察での天文プログラムの実施

○陶芸や木工作品等の創作活動の指導・助言

- ・利用状況を踏まえプログラムを見直し、新規メニューを追加した。
- ・仕入れ価格の高騰に伴い、一部プログラム料金を改定した。

○「工作棟オープンデー」、「つくってあそぼう！」

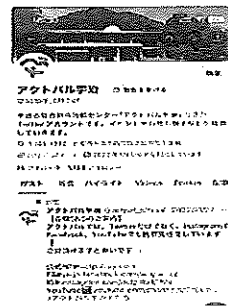
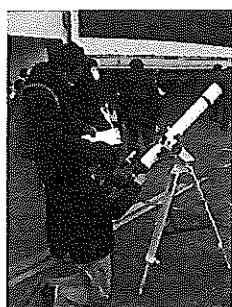
・工作プログラムの利用促進をはかるため、予約不要で各種クラフト体験ができるイベントとして実施した。

○農業体験やふるさと体験の紹介

○林間学校・スポーツ合宿等でのプログラム相談

○Web での情報発信

- ・ホームページで施設予約状況、イベント情報等、最新の情報発信を行った。
- ・令和4年度より SNS (Instagram X Facebook) を毎日更新しており、フォロワー数も伸びている。(令和7年3月末現在 Instagram 1,435 人、X 1,120 人、Facebook 643 人)
- 新たに LINE ページを開設し登録者に最新情報を発信した。



(2) 利用促進イベント【野外活動奨励事業】

市民が気軽に野外活動に親しめる機会を提供するとともに、幅広い層に野外活動センターの利用が促進されることを目指して予約不要のイベントを開催した。

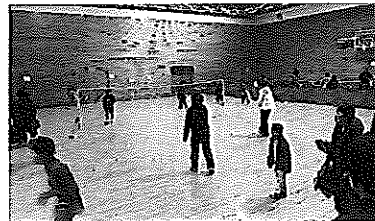
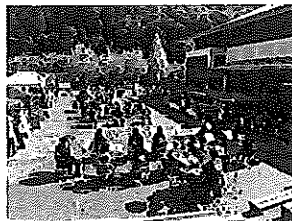
6 月の「アクトパルであそぼう！」を 25 周年記念事業と位置づけ、ノベルティグッズや市内福祉施設に作製依頼した焼菓子を配布した。

	人数	収入	支出	収支差額
令和6年度目標値	7,800 人	0 円	36 万円	-36 万円
令和6年度実績	9,064 人	0 円	約 62 万円	一約 62 万円※

※25 周年記念ノベルティグッズ費用含む

事業一覧

春・秋のグラウンド・ゴルフデー、春まつり、親子で楽しむグラウンド・ゴルフの日、アクトパルであそぼう！(25 周年記念)、山であそぼう！、秋まつり、ハロウィンをたのしもう！、夏・冬のわいわいホリデー、体育館であそぼう、笠取交湯会、新春笠取市、星空オープンデー



(3) 収益イベント【活動体験事業】

丁寧なサポートと充実したプログラムを提供するために、定員を設けた有料イベントを年間約 50 イベント企画・実施し、生涯学習の推進を図った。

親子で参加しやすい初心者向けの単発プログラムを中心とする一方、野外活動に深く興味を持ってもらう連続企画や年間を通じた登録制のクラブも実施した。(各イベント詳細は別紙資料 1 参照)

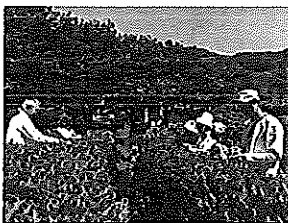
	人数	収入	支出	収支差額
令和 6 年度目標値	3,000 人	370 万円	240 万円	130 万円
令和 6 年度実績	2,963 人	約 337 万円	約 211 万円	約 126 万円

① 自然・文化・農業

笠取ならではの自然を生かした体験や農業体験、また笠取に古くから伝わる文化に触れる体験イベント。

事業例

春の野草探しと天ぷらづくり、田んぼ体験（連続企画：田植えから収穫まで）、お茶摘み・製茶&ティータイム、じゃがいも畑のくいしん坊、虫ムシ大作戦、いもほり&クッキング、ふるさとを味わおう、畑体験（連続企画：玉ねぎとじゃがいも～植え付けから収穫まで～）、秋のピクニック、ミニ門松・鏡餅づくり&もちつき、ふるさとハイキング、しいたけの菌打ち体験、天文教室、グラウンド・ゴルフ大会、エッグハント

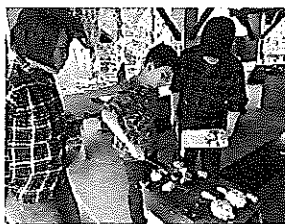


② アウトドア体験

初心者がアウトドアを楽しむためのちょっとしたコツをアドバイスして、アクトパルの炊事棟やキャンプ道具をご利用いただきスキルアップできるイベント。

事業例

バウムクーヘンをつくろう！、アウトドアクッキング（ピザ作り）、燻製をたのしもう！、ダッチオーブンでケーキをつくろう！、BBQをたのしもう！、アウトドアクラブ（年 5 回連続企画）

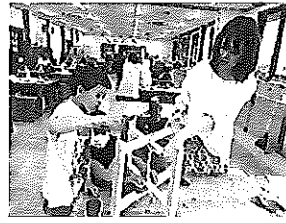
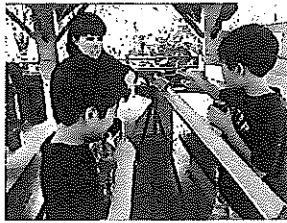


③ 手作り体験

施設近辺で取れる自然素材を使ったり、工作棟で電動工具や陶芸窯を使ったりとアクトパルならではの手作り体験ができるイベント。

事業例

陶芸教室入門編、夏休み親子工作デー、そば打ち体験、手打ちうどん教室、流しそうめんセットをつくろう！、クリスマスリースをつくろう！、陶器のランタンづくり、陶芸教室ろくろ編
親子で楽しむ木工教室、陶芸クラブ（年間登録制）、タイルコースターをつくろう！



2. その他自主事業 財団自主事業（収益事業・公益事業）

施設外でのイベント開催や外部事業者との提携を図るなど、設置施設の枠組みにとらわれない柔軟な事業展開を行った。

食堂及び売店運営業務を有限会社笠取ファームに委託し、地域の特色を生かした食事提供や物品販売を行った。

お客様のニーズにこたえ利便性を高めるため、新たな利用プランや貸出物品を追加した。

収益事業

（目標額） 収入 90 万円 支出 20 万円 収支差額 70 万円

（実績） 収入約 182 万円 支出約 63 万円 収支差額約 119 万円

・食堂売店運営を笠取ファームに委託

食堂では地元笠取産の米を使用した食事を提供した。

売店やイベントで野菜や特産物の販売を実施した。

鍋焼きうどんとグラウンド・ゴルフをセットにした割引プランを提供した。

食堂の衛生管理が評価され、笠取ファームが京都府食品衛生協会より優良施設として表彰された。

・出張教室の実施

木幡公民館、宇治市植物公園でのイベントに出店し、工作プログラムを提供した。

東宇治地域福祉センターでそば打ち教室を実施した。

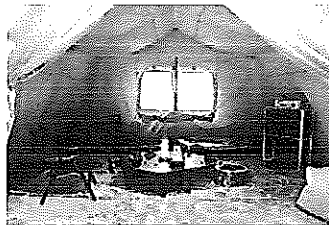
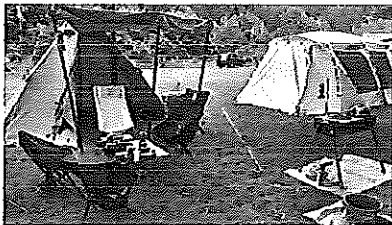
・アクトパル宇治での結婚披露宴開催を希望されるお客様と利用内容について調整を図った。

・お客様の利便性を高めるため、有料貸出物品を追加した。（ハンモック、焚火台等）

・利用の少なかった三角広場をオートキャンプ場として活用し、オートキャンププランを販売し

た。また、北の広場を新たに日帰りオートキャンプ場として整備し、日帰りオートキャンププランの提供を開始した。

- ・常設テントの利用促進を図るため、特別プラン「森と星キャンプ」を提供した。展望デッキでのBBQや電源の設置、春夏と秋冬で設備を入れ替え年間通して快適なキャンプ空間を提供した。
- ・お客様からのご要望に応え、アウトドアグッズ等、有料の貸出物品を拡充した。
- ・食事提供のバリエーション拡大をはかるため、イベントにあわせてキッチンカー出店を招致した。
- ・施設内を巡るクイズラリーを実施し、PRにつなげた。
- ・利用の少ない冬季の宿泊室日帰り利用プラン、研修室をコワーキングスペースとして提供するワーケーションプランを提供した。
- ・公衆浴場営業許可を取得し、大浴場の日帰り入浴サービスを提供した。



公益事業

収益を求めず、公益に資する事業として事業を実施した。

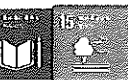
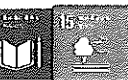
- ・宇治市地球温暖化対策推進パートナーシップ会議「eco ット宇治」と共同で森林保全活動「どんぐりプロジェクト」に取り組み、里山保全活動をPRした。
- ・山間地域で高齢者も多い笠取地域の皆様に気軽に利用いただけるよう、宇治市立図書館と連携して図書配本サービスを提供することで、地域サービス向上に貢献した。

野外活動奨励事業・野外活動体験事業 事業一覧

(活動奨励事業)

野外活動に親しめる機会を提供するとともに、幅広い層に野外活動センターの利用が促進されることを目指して予約不要のイベントを開催した。

総合計 9,064 人

開催日	事業名	目 的	SDGs 目標
4 月 5 日 (金)	春のグラウンド・ゴルフデー	グラウンド・ゴルフ場を無料開放し、コミュニケーションを図る場を創出するとともに、生涯スポーツとしてのグラウンド・ゴルフの普及を図った。 《参加者 103 人》	
4 月 7 日 (日)	春まつり	桜が見ごろの時期に地元特産品の販売や市民グループ・障がい者施設の出店を行うことで、市民が自然に親しむ機会を創出し、地域振興・交流の機会につなげた。《参加者 1,937 人》	
①4 月 27 日 (土) ②9 月 16 日 (月・祝)	親子で楽しむ グラウンド・ゴルフの日	親子か祖父母&孫など大人と子どもと一緒に気軽にプレーできるよう料金を割引し、交流を図る場を創出するとともに、生涯スポーツとしてのグラウンド・ゴルフの普及を図った。 《参加者①31 人②35 人》	
6 月 9 日 (日)	開設 25 周年記念 アクトパルであそぼう!	開設 25 周年を記念したノベルティーを作成・配布した。また、新緑の時期に丸太切り体験、じゃがいも掘りなど自然豊かな施設の特徴を生かした多彩なイベントを実施することによって、市民が自然に親しむ機会を創出した。 《参加者 730 人》	 
7 月 26 日 (金) ~ 8 月 25 日 (日) の 金・土・日・祝 (全 16 回)	夏のわいわいホリデー	夏休み期間の金土日祝開催。涼しい屋内で無料の紙工作等ミニイベント実施とともに施設の案内を提供し、利用促進につなげた。 《参加者のべ 267 人》	
8 月 11 日 (日)	山であそぼう!	山の日にちなみ野鳥の観察、生物調査、標本づくり、工作などを実施し、山の自然を身近に感じてもらう機会にした。《参加者 457 人》	 
10 月 6 日 (日) 予備日 10 月 14 日 (月・祝)	秋まつり	(有) 笠取ファーム、笠取小学校と共催し、地元特産品の販売や市民グループ・障がい者施設の出店、地域の活動紹介を行うことで、地域振興・交流の場を創出した。 《参加者 2,615 人》	

開催日	事業名	目 的	SDGs 目標
10月27日(日)	ハロウィンをたのしもう！	ハロウィンの時期に合わせて、仮装ショーなどを通じて風習や手作りの楽しさを伝えた。 《参加者 399人》	
12月～ 令和7年2月 (毎週日曜・祝日)	わいわいホリデー (全15回)	ゆったり過ごしてもらえる室内で、季節にちなんだ楽しい企画を盛り込み、利用促進の広報活動と冬場での楽しさを提供した。 《参加のべ882名》	
①12月8日(日) 令和7年 ②1月11日(土) ③1月12日(日) ④1月13日(月・祝) ⑤2月16日(日)	体育館であそぼう (全5回)	体育館を無料開放して、冬でもスポーツを楽しめる場を提供した。また、アクトパルの体育館を知ってもらう機会とした。 計画当初より、回数を増やした。 《参加者①135人②55人③92人④62人⑤95人》	
1月～2月 (毎週土曜日・1月12日・2月23日)	笠取交湯会(全9回)	笠取地域の住民を対象に大浴場を開放することにより、交流の場を提供し、地域との結びつきを深めた。 《参加者 100人》	
1月11日(土) 1月12日(日) 1月13日(月・祝)	新春笠取市(全3回)	笠取地元産野菜の販売を始め、陶器市や、豚汁・つきたて餅の販売などで、新春の笠取の魅力を発信した。 《参加者 246人》	
①4月20日(土) ②6月8日(土) ③6月15日(土) ④8月3日(土) ⑤10月19日(土) 令和7年 ⑥1月18日(土) ⑦2月15日(土)	星空オープンデー (全7回)	施設内の望遠鏡などの天体観測設備の特長を生かし、星空に関心を持ってもらえるプログラムを実施した。また、天文ボランティアの活動の場を創出した。 ⑤は雨天中止。 《参加者①6人②387人③177人④197人⑤0人⑥27人⑦29人》	

(活動体験事業)

丁寧なサポートと充実した有料イベントを年間約 50 イベント企画・実施し、生涯学習の推進を図った。親子で参加しやすい初心者向けの単発プログラムを中心とする一方、野外活動に深く興味を持ってもらう連続企画や年間を通じた登録制のクラブも実施した。 総合計 2,963 人

①自然・文化・農業

笠取ならではの自然を生かした体験や農業体験、また笠取に古くから伝わる文化に触れる体験イベントを実施した。

開催日	事業名	目 的	SDGs 目標
4 月 7 日 (日) ~ 令和 7 年 3 月末まで	季節のクイズラリー (春まつり・GW・アク トバルであそぼう・夏 のわいわいホリデー・ 山であそぼう・秋まつ り・ハロウィン・わい わいホリデー・他日 曜・祝日など)	各イベント内で開催。子どもたちが施設内を巡 り、四季を体感するとともに、施設を知って もらうきっかけとした。 《参加者 580 人》	
4 月 7 日 (日)	エッグハント	「春まつり」に合わせて開催。イースターにち なんだ宝探しを開催し、季節を感じてもらえる イベントとした。 《定員 60 人 参加者 60 人》	
4 月 14 日 (日)	春の野草探しと野草の 天ぷらづくり	施設内での野草摘みを通じて、食用にできる植 物を知り、摘んだ草花を材料に天ぷらにして食 育の一助とした。 《定員 40 人 参加者 34 人》	
①5 月 11 日 (土) ②5 月 12 日 (日) (2 回開催)	お茶つみ・製茶&ティー タイム	施設内の茶畑での茶摘みから製茶体験など通じ て宇治の代表的な産品である茶のことをよく知 ってもらう機会とした。 《定員各 24 人 参加者①22 人②20 人》	
田植え ①5 月 18 日 (土) ②5 月 19 日 (日) 稲刈り ①9 月 14 日 (土) ②9 月 15 日 (日)	田んぼ体験 ～田植え&稲刈り～	笠取ファームの協力により、田んぼで田植えと 稲刈りを体験した。自分で植えた稲が育つのを 観察し、稲穂が垂れたタイミングで稲刈りをす ることで、自然の恵みを体感し食べ物を大切に する心の醸成につなげた。 《定員各 40 人 参加者延べ 124 人》	
①6 月 22 日 (土) ②6 月 23 日 (日) (2 回開催)	じゃがいも畑のくいし ん坊	笠取ファーム所有の畑でじゃがいも掘りを体験 し、その場(畑)で調理した掘りたてのいもの おいしさを知ることによって農業体験の楽しさを知る 機会とした。2 日目は雨天中止。 《定員各 24 人 参加者①19 人②0 人》	

開催日	事業名	目 的	SDGs 目標
7月20日(土) ～21日(日) (1泊2日)	虫ムシ大作戦	虫捕りや観察を通じて身近な自然に親しみ、豊かな生態系を守ることの大切さを学ぶ機会とした。 《定員30人 参加者19人》	
8月11日(日)	生き物調査隊&丸太切り大会	「山であそぼう！」に合わせて開催。川に入り、生き物と触れ合うことで、笠取の自然に親しむ機会とした。《定員30名 参加者16人》 丸太切りは、決められた重さに近づけるよう家族で協力し、丸太の輪切りを楽しむことで、ノコギリの使い方など家族での協力を体験する機会とした。《定員30名 参加者26名》	
①10月19日(土) ②10月20日(日) (2回開催)	いもほり&クッキング	畑でさつまいも収穫した後、とれたてのさつまいもを使って炊事棟で簡単なお菓子類を作ることのでアウトドアでの料理を楽しみ、食育につなげた。《定員各24人 参加者①24人②28人》	
10月27日(日)	ピニャータ割り 缶バッジづくり ホールインワン大会	「ハロウィンをたのしもう！」に合わせて開催。ハロウィンの風習を学びながら、小さなお子様から小学生までお菓子の入った風船を割るなど、ハロウィンに触れる機会とした。 《定員30名 参加者28名》 合わせて、記念品の缶バッジづくりや、 《参加者31名》 グラウンド・ゴルフを気軽に体験できる機会を設けた。 《参加者33名》	
【苗・種いも植え】 ①11月3日(日) ②令和7年3月2日(日) 【収穫体験】 令和7年③5月4日(日)④6月14日(土) 予定(全4回)	畑体験 ～玉ねぎの苗と種いもの植え付け&収穫～	地元農家の協力により、畑での植え付けと収穫の両方を体験した。自分で植えた苗が育ち、春を迎えて収穫、さらに調理することで食べ物を大切にする心の醸成につなげた。 《定員50人 参加者①44人②48人》	
①11月16日(土) ②11月17日(日) (2回開催)	ふるさとを味わおう	ひき臼を使ったきなこづくり、杵と臼を使ったもちつきを通して、地域に伝わる昔の道具の使い方や食べ物の文化に触れた。また、地元の畑でとれたての大根を味わうことで農業体験の楽しさを知る機会とした。 《定員各24人 参加者①14人②25人》	
11月23日(土・祝)	秋のピクニック	紅葉を楽しみながら施設周辺の里山を歩き、樹木の説明などで自然との接し方を学んだ。また、落ち葉焚きで笠取産の焼き芋を味わい、秋の笠取の魅力を伝えた。 《定員24人 参加者17人》	

開催日	事業名	目 的	SDGs 目標
①12月21日(土) ②12月22日(日) (2回開催)	ミニ門松・鏡もちづくり &もちつき	迎春準備としてのミニ門松づくりともちつき、 ミニ鏡もちづくりを体験することで、古くから 受け継がれている伝統や風習に親しんだ。 《定員各24人 参加者①30人②24人》	 
令和7年 2月11日(火・祝)	しいたけの菌打ち体験	地元農家を講師に招き、しいたけの菌うちや、 ほだ木の育て方を学ぶことを通して笠取の農 業・特産品を知るきっかけとした。 《定員40人 参加者 31人》	 
3月16日(日) 計画は1月25日(土) ～26日(日) (1泊2日)	ふるさとハイキング	笠取の旧跡を巡りながら里山を歩き、笠取の自 然を体感するとともに、地元農家のしいたけ栽 培の見学など笠取の農産品を知ってもらい地元 との交流も図る予定だったが、雪の影響により 日帰りとして3月に延期し、雨によって中止と なった。 《定員30人 参加者0人》	 
①5月26日(日) ②7月6日(土) ③9月16日(月・祝) ④11月9日(土) ⑤12月7日(土) ～8日(日) (1泊2日) 令和7年 ⑥3月1日(土)	天文教室(6回開催) 「今がめちゃくちゃ面白 い!太陽!」 「日本の七夕あれこれ」 「中秋の名月と月見団 子づくり」 「プラネタリウムを知 ろう、みよう、つくろ う!」 「冬の贅沢!星空キャ ンプ」 「アクトパルで星空探 検」	天体観察だけではなく、テーマに合わせた話や 工作・実験などを交えて、奥深い天文の世界に 触れる機会とした。 《定員①～⑥ 30人 参加①26人②23人③28人④20人⑤24人 ⑥21人》	
①4月13日(土) ②5月10日(金) ③6月8日(土) ④7月6日(土) ⑤9月21日(土)	グラウンド・ゴルフ大 会	グラウンド・ゴルフを通じて、自然とのふれあ いや人々の交流の場を提供した。 《定員①～⑪70人 参加者①61人②48人③69人④65人⑤66人 ⑥69人⑦0人⑧74人⑨78人⑩98人⑪99人》	

⑥10月12日(土) ⑦11月2日(土) ⑧12月7日(土) 令和7年 ⑨1月18日(土) ⑩2月15日(土) ⑪3月1日(土) (11回実施)			
● 3月14日(金)	●チャンピオンシップ 大会	1年の成果を確かめるために年間通算成績上位の方を対象にした大会を開催した。 《参加者 51 人》	

②アウトドア体験

初心者がアウトドアを楽しむためのちょっとしたコツをアドバイスして、アクトパルの炊事棟やキャンプ道具をご利用いただき、スキルアップできるイベントを実施した。

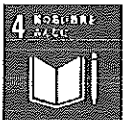
開催日	事業名	目 的	SDGs 目標
①6月1日(土) ②6月2日(日) (2回開催)	バウムクーヘンをつくろう！	野外でのバウムクーヘン作りに挑戦することによって、アウトドアの料理の奥深さに触れるとともに、家族で協力し作り上げることで、コミュニケーションを深める機会とした。 《定員各 40 人 参加者①38 人②48 人》	
8月31日(土)～ 9月1日(日) (1泊2日)	親子 de キャンプ	キャンプ経験のない家族が気軽に参加できて、普段と違った環境の中での家族内のコミュニケーションづくり、キャンプやアウトドアに親しむ契機となることを目指したが、雨天のため中止とした。《定員 24 人 参加者 0 人》	
①9月7日(土) ②9月8日(日) (2回開催)	アウトドアクッキング	地元のイタリア料理店のシェフに生地づくりから教わる窯焼きピザづくりを体験することを通じて、アウトドアでの料理を楽しみ、食育につなげた。 《定員各 24 人 参加者①24 人②28 人》	
11月4日(月・祝)	燻製をたのしもう！	簡単な方法で、肉をはじめ意外な食材を燻製することによって、野外ならではのクッキングを身近に感じてもらえる機会とした。また、燻製の技法を知ることによって無駄のない食材の消費を考える機会とした。《定員 40 人 参加者 54 人》	
12月15日(日)	ダッチオーブンでケーキをつくろう！	クリスマスの時期に合わせて、野外炊事の道具を使っのケーキづくりを行うことで、アウトドアでのクリスマスを楽しんでもらった。 《定員 24 人 参加者 32 人》	

開催日	事業名	目 的	SDGs 目標
1 月 19 日 (日)	冬のアウトドアクッキング	地元特産品の野菜を使った温かい料理を家族が協力して作って食べることで、家族の絆を深める場を提供するとともに、冬のアウトドアの楽しみ方を知るきっかけとした。 《定員 24 人 参加者 26 人》	
3 月 23 日 (日)	BBQ をたのしもう！	家族で野外 BBQ を楽しめるよう、野外炊飯の基本やコツなど実践を通じて習得する機会を提供した。 《定員 24 人 参加者 18 人》	
①4 月 21 日 (日) ②7 月 7 日 (日) ③9 月 22 日 (日) ④11 月 24 日 (日) 令和 7 年 ⑤2 月 22 日 (土) ～23 日 (日) (1 泊 2 日)	アウトドアクラブ (全 5 回)	年 5 回の連続講座で、初回は火おこしなどのアウトドアの基礎を学び、ステップアップしながら最終回はキャンプ場で宿泊し、自立してアウトドア活動ができることを目指した。また、回ごとに新しいメニューを取り入れ、新企画になげられるようモニターになっていただいた。 《定員 24 人 ①21 人②22 人③23 人④18 人⑤18 人》	

③手作り体験

施設近辺で取れる自然素材を使ったり、工作棟で電動工具や陶芸窯を使ったりと、アクトパルならではの手作り体験ができるイベントを実施した。親子で協力する作品作りや、大人だけでも楽しい作品作りなど、目的に応じて参加していただいた。

開催日	事業名	目 的	SDGs 目標
6 月 30 日 (日) (午前午後 2 回開催)	陶芸教室～入門編～	陶芸をはじめたい人のために初心者向けの教室を開催し、陶芸に親しんでもらうとともにより上級の作品に取り組むことができるように案内した。《定員各 24 人 参加者午前 27 人午後 19 人》	
①7 月 13 日 (土) ②7 月 14 日 (日) ③7 月 15 日 (月・祝) (3 回実施)	流しそうめんセットをつくろう！	家族で協力し、竹で流しそうめんの台や食器づくりをすることでモノづくりの楽しさを共有し、家族の絆を深める機会とした。 《定員各 24 人参加者①26 人②24 人③24 人》	
7 月 28 日 (日)	夏休み親子工作デー	夏休みに親子が協力して木工作品作りに取り組むことにより、親子の協力関係を築くきっかけづくりを行うとともに、講師の指導で工作道具の正しい使い方なども学び、モノづくりの楽しさを体感することを目指した。 《定員 24 人 参加者 19 人》	

開催日	事業名	目 的	SDGs 目標
11月10日(日)	そば打ち体験	そば打ちを体験することでそば打ちを身近に感じ、ふるさとの食文化や手作りの楽しさを体感する機会とした。 《定員20人 参加者21人》	 
12月1日(日) (午前午後2回開催)	クリスマスリースをつくろう！	施設周辺の植物など自然の素材を生かしたオリジナルのリースづくりを通して、豊かな自然やモノづくりの楽しさ、クリスマスリースの由来を知る機会とした。 《定員各24人 参加者午前18人午後23人》	
1月13日(月・祝) (午前午後2回開催)	陶器のランタンづくり	切り絵象嵌の技法を用いて筒状のランタンを作り、陶芸の楽しさに触れた。 《定員各24人 参加者午前14人午後3人》	
2月9日(日) (午前午後2回開催)	陶芸教室～ろくろ編～	陶芸経験者を対象に、電動ろくろを使った作品づくりに挑戦し、ステップアップを目指した。 《定員各24人 参加者午前20人午後15人》	
2月15日(土) ～16日(日) (1泊2日)	親子で楽しむ木工教室	2日間かけていろいろな工具を使い、本格的な木工作業に取り組んで道具の使い方や木工の楽しさに触れるとともに、笠取産野菜のお鍋や冬の星空観察など、家族でゆっくり過ごせる場を提供した。《定員20人 参加者10人》	
2月16日(日)	タイルコースターをつくろう！	京都府職業能力開発協会の方を講師に招き、カラフルなタイルを並べてオリジナルのコースターや鍋敷きを制作し、モノづくりの楽しさに触れた。 《定員30名 参加者32名》	
①3月8日(土) ②3月9日(日) (2回開催)	手打ちうどん教室	うどん打ちの講師による笠取の名水を使ったうどん作りを通じてふるさとの食文化や手作りの良さを学んだ。 《定員各24人 参加者①24人②20人》	 
4月4日～ 令和7年3月28日	陶芸クラブ (全72回)	炭山の陶芸家を講師に迎え、年間登録しているクラブ員が対象で、毎月6回設けた活動日に通年で陶芸に親しんでもらった。《現会員37名》	

理事会・評議員会開催状況

(1)理事会

回 数	開催日時	番 号	件 名
第1回	令和6年6月9日	議案第1号	令和5年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業報告について
		議案第2号	令和5年度公益財団法人宇治市野外活動センター決算報告について
		議案第3号	令和6年度第1回評議員会の招集について
		報告第1号	代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告
		報告第2号	令和5年度指定管理者事業報告書の提出について
		報告第3号	令和5年度宇治市出資法人自己評価報告書の提出について
第2回	令和7年3月2日	報告第4号	令和6年度宇治市総合野外活動センター利用状況及び事業実施状況について
		報告第5号	代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告
		議案第4号	令和7年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業計画について
		議案第5号	令和7年度公益財団法人宇治市野外活動センター収支予算について
		議案第6号	令和6年度第2回評議員会の招集について

(2)評議員会

回 数	開催日時	番 号	件 名
第1回	令和6年6月29日	議案第1号	令和5年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業報告について
		議案第2号	令和5年度公益財団法人宇治市野外活動センター決算報告について
		報告第1号	令和5年度指定管理者事業報告書の提出について
		報告第2号	令和5年度宇治市出資法人自己評価報告書の提出について
第2回	令和7年3月20日	報告第3号	令和6年度宇治市総合野外活動センター利用状況及び事業実施状況について
		報告第4号	令和7年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業計画について
		報告第5号	令和7年度公益財団法人宇治市野外活動センター収支予算について

理事・監事・評議員名簿

(1) 理事・監事名簿

(令和7年3月31日現在)

役 職 名	氏 名
代表理事	杉本厚夫
業務執行理事	藤原千鶴
理事	岩崎弘之
理事	鬼塚慎一
理事	宝本美穂
理事	西川治
監事	國谷和正
監事	井内徹

(2) 評議員名簿

(令和7年3月31日現在)

役 職 名	氏 名
評議員	久世谷幸治
評議員	橋本佳延
評議員	松林俊幸
評議員	森正子
評議員	安田修治

令和 6 年度

公益財団法人宇治市野外活動センター

決 算 報 告 書

貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	8,589,452	9,920,263	△ 1,330,811
売掛金	6,466,019	8,115,657	△ 1,649,638
未収金	7,600	0	7,600
前払金	66,626	197,443	△ 130,817
流動資産合計	15,129,697	18,233,363	△ 3,103,666
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	122,301	122,301	0
定期預金	20,470,499	20,470,499	0
投資有価証券	29,427,447	29,407,687	19,760
基本財産合計	50,020,247	50,000,487	19,760
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	49,583,351	46,052,240	3,531,111
特定資産合計	49,583,351	46,052,240	3,531,111
(3) その他固定資産			
構築物	816,576	646,546	170,030
什器備品	1,875,434	2,338,094	△ 462,660
その他固定資産合計	2,692,010	2,984,640	△ 292,630
固定資産合計	102,295,608	99,037,367	3,258,241
資産合計	117,425,305	117,270,730	154,575
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	13,043,612	17,357,259	△ 4,313,647
預り金	539,757	920,870	△ 381,113
流動負債合計	13,583,369	18,278,129	△ 4,694,760
2. 固定負債			
退職給付引当金	49,583,351	46,052,240	3,531,111
固定負債合計	49,583,351	46,052,240	3,531,111
負債合計	63,166,720	64,330,369	△ 1,163,649
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	50,000,000	50,000,000	0
基本財産受取利息	20,247	487	19,760
指定正味財産合計	50,020,247	50,000,487	19,760
(うち基本財産への充当額)	(50,020,247)	(50,000,487)	(19,760)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	54,258,585	52,940,361	1,318,224
負債及び正味財産合計	117,425,305	117,270,730	154,575

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	360,065	2,396	357,669
事業収益			
指定管理料収益	114,468,409	120,589,537	△ 6,121,128
利用料金収益	34,685,610	33,954,780	730,830
材料費収益	2,686,020	2,377,150	308,870
奨励事業収益	0	323,500	△ 323,500
活動体験事業収益	3,369,250	2,811,850	557,400
その他自主事業収益	1,823,235	86,600	1,736,635
雑収益			
雑収益	43,005	67,700	△ 24,695
経常収益計	157,435,594	160,213,513	△ 2,777,919
(2) 経常費用			
事業費			
仕入高	2,944,350	0	2,944,350
給料手当	52,389,960	52,198,767	191,193
臨時雇賃金	7,131,536	7,210,898	△ 79,362
退職給付費用	3,354,556	6,981,627	△ 3,627,071
福利厚生費	9,304,933	8,703,913	601,020
食糧費	109,418	137,300	△ 27,882
旅費交通費	2,965,225	3,143,376	△ 178,151
通信運搬費	822,606	763,048	59,558
減価償却費	597,330	232,336	364,994
消耗品費	2,176,189	5,662,459	△ 3,486,270
修繕費	3,326,739	4,843,848	△ 1,517,109
印刷製本費	281,353	619,735	△ 338,382
燃料費	1,810,866	1,823,213	△ 12,347
光熱水料費	14,739,153	13,500,068	1,239,085
賃借料	4,759,431	4,927,751	△ 168,320
広告料	373,753	0	373,753
保険料	121,810	103,540	18,270
諸謝金	1,708,281	1,749,842	△ 41,561
手数料	505,380	436,950	68,430
委託費	34,633,612	34,256,893	376,719

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費			
役員報酬	706,600	1,237,000	△ 530,400
給料手当	2,044,845	2,087,650	△ 42,805
退職給付費用	176,555	367,454	△ 190,899
福利厚生費	277,902	259,952	17,950
会議費	18,434	24,265	△ 5,831
食糧費	48,450	9,450	39,000
報償費	5,000	5,000	0
旅費交通費	190,625	90,520	100,105
通信運搬費	101,826	88,795	13,031
消耗品費	128,932	172,494	△ 43,562
保険料	241,690	282,640	△ 40,950
諸謝金	5,000	19,800	△ 14,800
租税公課	8,021,840	7,971,230	50,610
負担金	107,120	90,220	16,900
手数料	5,830	8,140	△ 2,310
経常費用計	156,137,130	160,010,174	△ 3,873,044
評価損益等調整前当期経常増減額	1,298,464	203,339	1,095,125
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,298,464	203,339	1,095,125
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
什器備品除却損	0	101,202	△ 101,202
経常外費用計	0	101,202	△ 101,202
当期経常外増減額	0	△ 101,202	101,202
当期一般正味財産増減額	1,298,464	102,137	1,196,327
一般正味財産期首残高	2,939,874	2,837,737	102,137
一般正味財産期末残高	4,238,338	2,939,874	1,298,464
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
基本財産受取利息	377,459	487	376,972
一般正味財産への振替額	357,699	0	357,699
当期指定正味財産増減額	19,760	487	19,273
指定正味財産期首残高	50,000,487	50,000,000	487
指定正味財産期末残高	50,020,247	50,000,487	19,760
Ⅲ 正味財産期末残高	54,258,585	52,940,361	1,318,224

正味財産増減計算書内訳表

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
	野外活動 センター 運営事業	野外活動 センター収益 運営事業			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益					
基本財産受取利息	360,065	0	0	0	360,065
事業収益					
指定管理料収益	100,654,548	1,733,212	12,080,649	0	114,468,409
利用料金収益	34,095,955	589,655	0	0	34,685,610
材料費収益	2,686,020	0	0	0	2,686,020
活動体験事業収益	3,369,250	0	0	0	3,369,250
その他自主事業収益	1,823,235	0	0	0	1,823,235
雑収益					
雑収益	43,005	0	0	0	43,005
経常収益計	143,032,078	2,322,867	12,080,649	0	157,435,594
(2) 経常費用					
事業費					
仕入高	2,944,350	0	0	0	2,944,350
給料手当	51,520,740	869,220	0	0	52,389,960
臨時雇賃金	7,010,300	121,236	0	0	7,131,536
退職給付費用	3,298,058	56,498	0	0	3,354,556
福利厚生費	9,142,025	162,908	0	0	9,304,933
食糧費	109,418	0	0	0	109,418
旅費交通費	2,913,354	51,871	0	0	2,965,225
通信運搬費	808,766	13,840	0	0	822,606
減価償却費	597,330	0	0	0	597,330
消耗品費	2,143,145	33,044	0	0	2,176,189
修繕費	3,270,184	56,555	0	0	3,326,739
印刷製本費	277,131	4,222	0	0	281,353
燃料費	1,780,081	30,785	0	0	1,810,866
光熱水料費	14,488,587	250,566	0	0	14,739,153
賃借料	4,678,521	80,910	0	0	4,759,431
広告料	373,753	0	0	0	373,753
保険料	121,810	0	0	0	121,810
諸謝金	1,708,281	0	0	0	1,708,281
手数料	497,056	8,324	0	0	505,380
委託費	34,050,724	582,888	0	0	34,633,612

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
	野外活動 センター 運営事業	野外活動 センター収益 運営事業			
管理費					
役員報酬	0	0	706,600	0	706,600
給料手当	0	0	2,044,845	0	2,044,845
退職給付費用	0	0	176,555	0	176,555
福利厚生費	0	0	277,902	0	277,902
会議費	0	0	18,434	0	18,434
食糧費	0	0	48,450	0	48,450
報償費	0	0	5,000	0	5,000
旅費交通費	0	0	190,625	0	190,625
通信運搬費	0	0	101,826	0	101,826
消耗品費	0	0	128,932	0	128,932
保険料	0	0	241,690	0	241,690
諸謝金	0	0	5,000	0	5,000
租税公課	0	0	8,021,840	0	8,021,840
負担金	0	0	107,120	0	107,120
手数料	0	0	5,830	0	5,830
経常費用計	141,733,614	2,322,867	12,080,649	0	156,137,130
評価損益等調整前当期経常増減額	1,298,464	0	0	0	1,298,464
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	1,298,464	0	0	0	1,298,464
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前					
当期一般正味財産増減額	1,298,464	0	0	0	1,298,464
他会計振替額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,298,464	0	0	0	1,298,464
一般正味財産期首残高	2,939,874	0	0	0	2,939,874
一般正味財産期末残高	4,238,338	0	0	0	4,238,338
II 指定正味財産増減の部					
基本財産受取利息	377,459	0	0	0	377,459
一般正味財産への振替額	357,699	0	0	0	357,699
当期指定正味財産増減額	19,760	0	0	0	19,760
指定正味財産期首残高	50,000,487	0	0	0	50,000,487
指定正味財産期末残高	50,020,247	0	0	0	50,020,247
III 正味財産期末残高	54,258,585	0	0	0	54,258,585

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

継続組織の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

移動平均法による償却原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	122,301	0	0	122,301
定期預金	20,470,499	0	0	20,470,499
投資有価証券	29,407,687	19,760	0	29,427,447
小 計	50,000,487	19,760	0	50,020,247
特定資産				
退職給付引当資産	46,052,240	3,531,111	0	49,583,351
小 計	46,052,240	3,531,111	0	49,583,351
合 計	96,052,727	3,550,871	0	99,603,598

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	122,301	(122,301)	(0)	—
定期預金	20,470,499	(20,470,499)	(0)	—
投資有価証券	29,427,447	(29,427,447)	(0)	—
小 計	50,020,247	(50,020,247)	(0)	—
特定資産				
退職給付引当資産	49,583,351	—	—	(49,583,351)
小 計	49,583,351	(0)	(0)	(49,583,351)
合 計	99,603,598	(50,020,247)	(0)	(49,583,351)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
構築物	1,498,316	681,740	816,576
什器備品	3,374,150	1,498,716	1,875,434
合 計	4,872,466	2,180,456	2,692,010

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
国債	29,427,447	24,660,000	△ 4,767,447
合 計	29,427,447	24,660,000	△ 4,767,447

7. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引内容は次のとおりである。

種類	法人等の名称	住所	資産総額(単位:円)	事業の内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額(単位:円)	科目	期末残高(単位:円)
						役員の兼務等	事業上の関係				
当該公益法人を支配する法人	宇治市	京都府宇治市	—	—	—	—	宇治市総合野外活動センター管理運営業務の受託契約の締結	業務受託費の受取	114,468,409	—	—

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

業務受託費については、市場価格を勘案し一般的取引条件と同様に決定する。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区 分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	普通預金	122,301	0	0	122,301
	定期預金	20,470,499	0	0	20,470,499
	投資有価証券	29,407,687	19,760	0	29,427,447
	基本財産計	50,000,487	19,760	0	50,020,247
特定資産	退職給付引当資産	46,052,240	3,531,111	0	49,583,351
	特定資産計	46,052,240	3,531,111	0	49,583,351

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	46,052,240	3,531,111	0	0	49,583,351

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)						
	現金	手元保管	運転資金として	887,584		
	普通預金	京都中央信用金庫 宇治支店	運転資金として	7,701,865		
		大和ネクスト銀行 ビシャモン支店	運転資金として	3		
	売掛金	宇治市	公益目的事業、収益事業等及び管理業務に関する指定管理料収益	5,295,409		
		リクルートペイメント	公益目的事業及び収益事業等に関する利用料金収益	1,050,290		
	未収金	施設利用者	公益目的事業に関する利用料金収益	120,320		
		施設利用者	公益目的事業に関する雑収益	7,600		
	前払金	(有)ホケン	公益目的事業に関する保険料	20,000		
		コストコホールセールジャパン(株)	公益目的事業に関する仕入高	18,516		
		エックスサーバー	公益目的事業及び収益事業等に関する通信運搬費	13,200		
(社福)京都府社会福祉協議会		管理業務に関する保険料	8,000			
	モトロータス	管理業務に関する保険料	6,910			
流動資産合計				15,129,697		
(固定資産)						
基本財産	普通預金	京都中央信用金庫宇治支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	122,301		
	定期預金	京都信用金庫本部	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	10,000,000		
		京都やましろ農業協同組合東宇治支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	10,000,000		
		大和ネクスト銀行 ビシャモン支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	470,499		
	投資有価証券	利付国庫債券(30年)第81回	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	29,427,447		
特定資産	退職給付	普通預金	退職金の支払い財源として積み立てている	49,583,351		
その他固定資産	引当資産	京都中央信用金庫 宇治支店				
		構築物	幼児向け遊具	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	439,940	
	什器備品	幼児向け遊具	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	87,245		
		広場スロープ	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	289,391		
		七宝焼講習用電気炉	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	1		
		電気窯	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	1		
		冷蔵庫	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	21,605		
		電気窯	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	1,493,327		
		ノートパソコン3台	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	360,500		
固定資産合計				102,295,608		
資産合計				117,425,305		
(流動負債)						
	未払金	役職員	公益目的事業、収益事業等及び管理業務に従事する職員の給与等	2,437,101		
		京都南年金事務所	公益目的事業、収益事業等及び管理業務に関する福利厚生費	697,951		
		NTT西日本	管理業務に関する通信運搬費	18,927		
		内田工務店	公益目的事業に関する仕入高	11,000		
		泉陶料	公益目的事業に関する仕入高	3,030		
		アマゾンジャパン	公益目的事業及び収益事業等に関する消耗品費	48,269		
		三井田商事	公益目的事業及び収益事業等に関する消耗品費	38,985		
		エディオン	公益目的事業及び収益事業等に関する修繕費	50,800		
		近建ビル管理	公益目益事業及び収益事業等に関する修繕費及び委託費	1,785,410		
		キャンパルジャパン	公益目益事業及び収益事業等に関する修繕費及び委託費	540,100		
		吉田商事	公益目益事業及び収益事業等に関する燃料費	161,700		
		関西電力	公益目益事業及び収益事業等に関する光熱水料費	1,212,390		
		小山商会	公益目益事業及び収益事業等に関する賃借料	330,498		
		ダスキン山城	公益目益事業及び収益事業等に関する賃借料	1,584		
		ボランティア	公益目的事業に関する諸謝金	106,400		
		宇治第一交通	管理業務に関する旅費交通費	3,810		
		笠取ファーム	公益目益事業及び収益事業等に関する委託費	1,905,511		
		東洋テック	公益目益事業及び収益事業等に関する委託費	29,480		
		堂坂ジェットクリーナー工業	公益目益事業及び収益事業等に関する委託費及び修繕費	1,597,090		
		日本郵便	管理業務に関する通信運搬費	33,035		
		KDDI	管理業務に関する通信運搬費	13,457		
		朝日ネット	管理業務に関する通信運搬費	8,228		
		正美堂	公益目的事業、収益事業等及び管理業務に関する会議費及び消耗品費	27,856		
		宇治税務署	管理業務に関する租税公課	1,981,000		
		預り金	役職員	本人負担分社会保険料及び源泉所得税	539,757	
		流動負債合計				13,583,369
		(固定負債)	退職給付引当金	職員	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	49,583,351
		固定負債合計				49,583,351
		負債合計				63,166,720
		正味財産				54,258,585

監 査 報 告 書

令和7年5月16日

公益財団法人宇治市野外活動センター

代表理事 杉本 厚夫 殿

公益財団法人宇治市野外活動センター

監事

國谷和正

監事

井内徹

私たちは、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの令和6年度における会計及び業務の監査を行った。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿及び関係書類の閲覧等必要と認められる監査手続を用いて、貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにその附属明細書並びに財産目録の適正性を検討した。
- (2) 業務監査については、理事会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と認められる監査手続を用いて、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにその附属明細書並びに財産目録が公益財団法人宇治市野外活動センターの財産及び正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 事業報告は法令又は定款に従い公益財団法人宇治市野外活動センターの状況を正しく示していると認める。
- (3) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないものと認める。